

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 6 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【公表番号】特表 2006-526553 (P2006-526553A)

【公表日】平成 18 年 11 月 24 日 (2006.11.24)

【年通号数】公開・登録公報 2006-046

【出願番号】特願 2006-515193 (P2006-515193)

【国際特許分類】

**B 6 5 D 30/22 (2006.01)**

**B 6 5 D 30/02 (2006.01)**

**B 6 5 D 65/40 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 D 30/22 F

B 6 5 D 30/22 G

B 6 5 D 30/02

B 6 5 D 65/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 4 日 (2007.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 融点を有する第 1 ポリマーと、

第 2 融点を有する第 2 ポリマーと、

第 2 側面の反対側に第 1 側面を有するシーリング中間層と、

を含む破壊可能なシールであって、前記第 1 側面が前記第 1 ポリマーの一部に接合した第 1 境界層を含み、前記第 2 側面が前記第 2 ポリマーの一部に接合した第 2 境界層を含み、前記シーリング中間層が前記第 1 融点および前記第 2 融点より高い融点を有し、前記シーリング中間層が約  $2.5 \mu\text{m}$  ~ 約  $7.0 \mu\text{m}$  の平均有効繊維径を有する複数のマイクロファイバーを含み、前記第 1 境界層が前記第 1 ポリマーによって取り囲まれた前記複数のマイクロファイバーの第 1 部分を含み、前記第 2 境界層が前記第 2 ポリマーによって取り囲まれた前記複数のマイクロファイバーの第 2 部分を含む破壊可能なシールにおいて、壊れやすい界面を前記第 1 境界層と前記第 2 境界層との間に有し、前記第 2 境界層からの前記第 1 境界層の分離を引き起こす力の適用によって前記壊れやすい界面で分かれる破壊可能なシール。

【請求項 2】

前記第 1 ポリマーおよび前記第 2 ポリマーがポリエチレンである、請求項 1 に記載の破壊可能なシール。

【請求項 3】

前記複数のマイクロファイバーがポリプロピレンを含む、請求項 1 または 2 に記載の破壊可能なシール。

【請求項 4】

前記複数のマイクロファイバーが約  $10 \text{ g/m}^2$  ~ 約  $30 \text{ g/m}^2$  の坪量を有するポリプロピレンウェブを形成する、請求項 1、2、または 3 に記載の破壊可能なシール。

【請求項 5】

前記壊れやすい界面の主要部が、前記第 1 境界層と第 2 境界層との間にマイクロファイバー含有ギャップを含む、請求項 1 ~ 4 に記載の破壊可能なシール。

【請求項 6】

前記第 1 ポリマーおよび第 2 ポリマーが前記シーリング中間層を実質的に満たす、請求項 1 ~ 5 に記載の破壊可能なシール。

【請求項 7】

前記シーリング中間層が前記パッケージの第 1 区画を前記パッケージの第 2 区画から分離する、多区画パッケージと組み合わせた請求項 1 ~ 6 に記載の破壊可能なシール。

【請求項 8】

前記第 1 区画が第 1 反応性物質をその中に含み、かつ、前記第 2 区画が第 2 反応性物質をその中に含み、かつ、前記第 2 境界層からの前記第 1 境界層の分離を引き起こす力の適用によって前記破壊可能なシールが前記壊れやすい界面で分かれるとすぐに、前記第 1 反応性物質がその中で前記第 2 反応性物質と混ざる、請求項 7 に記載の破壊可能なシール。